

事業番号	14 05 10	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	教職員研修事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
				担当課	課・室	教学指導課	
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 4 安全・安心・信頼の学校づくり			E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開				実施期間	不明 ~	

## 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの命と安全を守り、夢や可能性を育む教員を育成する。</li> <li>専門性を磨き、人間力を高めるために学び続ける教員を育成する。</li> </ul>		
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>H25年度に作成された「長野県教員研修体系」に基づき、教員の資質能力の向上を図る研修の充実を推進している。</li> <li>模擬授業や事例研究などの実践的な研修が校内外で行えるようにする必要がある。(校内外で実践的な研修を行っている学校の割合 現状66.6%)</li> </ul>		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施：検討中	地方公務員法、教育公務員特例法、教育公務員特例法施行令、教育職員免許法、教育職員免許法施行規則 等	

事業内容	① 成果目標 (H26)						
	校内外において模擬授業や事例研究などの実践的な研修を行っている学校の割合を、H29年度90%に向け、H26年度76.5%以上にする。						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H26事業実績			
				H26 (当初)	H26 (決算)		
				H27 (当初)			
		文部科学省等主催研修派遣事業	直接	・文部科学省等が実施する研修への教員派遣	3,738	3,718	4,104
		教育職員免許法認定講習	直接	・小・中・高教諭等の上級免許状取得、特別支援学校の正規資格付与のための講習講座の開設	1,838	1,556	1,831
		初任者研修事業	直接	・新任教員に対する実践的研修の実施	87,548	85,643	80,451
		10年経験者研修事業	直接	・在職期間10年目を迎えた教員に対する研修の実施	5,172	4,987	5,111
	教員研修改善事業	直接	・教員研修の有効な在り方の検討	154	111	146	
	キャリアアップ研修事業	直接	・40歳代の教員に対する研修の実施	1,595	1,595	1,370	
	初任者研修の抜本的な改革に関する調査研究事業	直接	・県立高校8校を指定し、初任者に対する研修の調査研究を行う	3,900	1,379	3,889	
			合計	103,945	98,989	96,902	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	95,110	100,267	103,945	96,902
	補正予算	-3,600	0	-1,191	
	合計(A)	91,510	100,267	102,754	96,902
	国庫支出金			3,900	3,889
	県債				
	その他(手数料)	1,046	1,448	1,350	1,279
	一般財源	90,464	98,819	97,504	91,734
	決算額(B)	83,646	94,951	98,989	
概算人員費	職員数(人)	10.00	10.00	10.00	10.00
概算人員費(C)	概算人員費(C)	82,580	82,580	82,580	82,580
概算事業費(B(A)+C)		166,226	177,531	181,569	179,482

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
校内外で実践的な研修を行っている学校の割合	71.5%	76.5%	84.0%	達成	81.5%以上

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員として求められる上記の力を身に付けるため、校内外における実践的な研修の充実を図った。</li> <li>校外研修においては、授業改善や生徒指導に直結する内容や今日的な教育課題に応じた内容となるように、改善を図った。</li> <li>校内研修においては、校外研修の成果を校内に還元するための働きかけを行うことで、成果を共有したり、研修に対する意識の高まりを図ったりすることができた。その結果、成果目標が達成された。</li> </ul>
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成29年度の目標である90%の実現に向けて、「長野県教員研修体系」に基づいた研修を実施するとともに、継続的に見直しをしていく中での成果や課題を明らかにし、平成27年度の教員研修に生かす道筋を付ける。「校内研修アシストブック」が活用されるように機会を捉えて活用例等を示していく。